

# 都市計画と改革大綱の整合性は

## 質問

行政改革大綱は、合併して7年を迎え、改革に取り組んできたが、今なお課題が山積している。そこで、考え方や進捗状況を尋ねる。

## 企画部長

行政改革大綱だが、平成18年策定し、4つの基本理念を立て、①新しい行政経営システムの構築②市民と行政の協働による新たなまちづくり③健全な財政運営④簡素で効率的な行政運営など、基本的な

4項目でロジックモデルを作成し、推進しているところだ。

新規事業の提案など、次へのステップへ進むことが課題だ。行政改革推進委員会は、年2回、予算成立後1回、決算が出た後の1回実施している。

## 質問

いろいろな計画をしたとき、最終的に計画・実行・点検・見直しを行うということとは、部長、課長級の方は周知して

いるか。市民と行政と協働で、事業・事務事業を進める考え方に間違いはない。また、財政の健全化で最小の経費で最大の効果をあげるとあるがいか

## 企画部長

最小の費用で最大の効果を得る費用対効果も含め、事業展開していく。市民との協働の部分だが、当然そういった方向で事業展開していく。

## 質問

都市計画マスタープランと改革大綱の整合性での都市計画だが、我々を含めて将来の子供たちの夢ある計画を。

勝幡駅前開発や、モニユメントは費用対効果を示し、サービスだけで駅前開発をするのか。勝幡地区全体の街づくりを考えるべきだ。また、官と民で協働でやっていくべきと思うが。

## 経済建設部長

定量化の目標を設定し、鉄道駅利便性で、現1日4千639

人であったものを平成25年度目標値4千800人。市街化区域の未利用地の割合を、現10・3%を25年度目標値8%。道路整備の満足度5段階評価で現2・18ポイントを25年度

2・39ポイント目標である。都市計画マスタープランだ

が、市の将来計画、長期的な視点に立った将来像を把握し、魅力的な街づくりを進める計画だ。

## 質問

市長の任期もあと1年となり、残りの課題をどう捉えているか。永和学区は名古屋駅

までの20分圏内でJR永和駅・近鉄富吉駅。交通アクセスでは一号线、東名阪があり、市長の公約にも駅前開発とあるがいかがか。

## 市長

インター周辺の企業誘致、諸桑、旧塩田などが産業ゾーンである。県とタイアップし、将来的な都市計画については皆様の意見を聞き、総仕上げのつもりで、残りの1年を勤め上げていきたい。



大野 則男 議員

